

第2回淀川水系ダム事業費等監理委員会の議事概要について

1. 開催日時： 平成22年7月26日（月） 9：30～12：00
2. 開催場所： 京都テルサ 東館2階 中会議室
京都市南区新町通九条下ル 京都府民総合交流プラザ内
3. 委員： 安部友則（独立行政法人土木研究所 水工研究グループ長） 欠席
岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 准教授）
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）
鄭 小平（立命館大学経済学部 教授）
◎深川良一（立命館大学理工学部 教授）
◎印は委員長（*50音順・敬称略）

4. 議事概要：

委員会は4名の委員が出席し、事務局から大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業の実施状況等について説明を行い、各委員より次の意見及び助言をいただいた。

<大戸川ダム建設事業について>

- ・橋梁工事における新技術の採用にあたっては、ライフサイクルコストを考慮した上で積極的に採用すべきである。
- ・付け替え道路の計画見直し、コスト縮減内容について合理的であると判断できる。

<川上ダム建設事業について>

- ・転流工の2次覆工のコスト縮減の可能性を検討すること。
- ・付替道路の高盛土について盛土自体の沈下や地盤、アーチカルバートへの影響を確認すること。
- ・付替道路の統合や転流工工事の進入路計画の見直し等によるコスト縮減は合理的であると判断できる。

<天ヶ瀬ダム再開発事業について>

- ・導流部に使用予定のグラウチング及びパイプルーフ工は費用が高額となるためコスト縮減の可能性をさらに検討すること。
- ・新白虹橋や左岸工事用道路、トンネル式放流設備などの事業計画は全体として合理的であると判断できる。